

《 令和 5年度 P D C A サイクル実施計画・管理表 》

令和 5年 4月 1日 現在

部署名	P 実施計画				実施管理（年度末まとめ）			
	課題名	現状の問題点	改善のあり方	改善時期 （予定）	D	C 評価		A 改善
					実行	区分	実施内容	区分
看護部	がん医療に携わる専門的な医療従事者の育成	<p>1. 都道府県がん診療連携拠点病院として、最新の治療や専門的ながん看護について研修を通して提供する必要がある。多施設の研修生を受入れることが制限される中でも昨年度好評であったオンラインでの研修を計画する必要がある。</p> <p>2. がん専門病院として最新の治療に対する看護実践力を向上させる必要がある。</p> <p>3. がんセンター独自の研修方法を有効に活用して教育計画に基づいた研修を行う必要がある。</p>	<p>1. がん診療連携拠点病院の強化事業として、「がん看護コアナースセミナー」を昨年度と同様にオンラインで開催する。研修テーマは毎年最新の治療法や看護が発信できる内容とする。</p> <p>1)「がん患者さんが死にたいと言われたとき」をテーマに、講義とGWによる事例検討を3日間に分けて行う。</p> <p>2) 病院HPへの掲載や地域の拠点病院への発信など効果的な宣伝活動により参加者を募集する。</p> <p>3) 運営や講師・ファシリテーターについては、当院のCNSやCNが参加し、専門的関わり(困りごとの解決や支援方法の提案など)を行う。</p> <p>2. 専門・認定看護師や有資格者の実践力が向上する。</p> <p>1) CNSCN会を活用し、がん患者指導管理とお料取得数増加をはかる。</p> <p>2) CNSやCNがコンサルテーション事例を通してスタッフのがん看護に関する実践力が向上する支援を行う。</p> <p>3. ともタン研修と集合研修を合わせた研修を開催し人材を育成する。</p> <p>1)ともタン研修と集合研修を年間計画に基づいて開催する。</p> <p>2)院内講師はCNSやCNを活用し講義を行う。</p> <p>3)OJT支援方法と達成課題を明確にする。</p> <p>4)看護部ジェネラリストラダーで個別に評価を行う。</p>	令和5年 8月～9月 頃				

(注)実施管理・区分欄の記入について

C 評価における区分は、「達成」「概ね達成」「未達成」から、A改善における区分は、「完了」「継続」「その他」から、それぞれ1つ選んで記入する。

D 実行欄には、達成度等を考慮して、○、△、× を記入する。